

看護学分野

発達過程に共通する看護実践

授業科目	疫学	科目責任者	関山 友子	単位数	2	必修選択別	必修	履修条件 なし
				時間数	30	受講semester	4年次 前学期	
学習目的と 到達目標	目的	疫学とは何か、保健問題解決のためになぜ必要なのかを理解し、その方法論を習得する。また、健康指標、保健統計関連指標について理解する。						
	到達目標	1. 疫学の定義、公衆衛生との関連を理解する。 2. 記述疫学、疫学研究方法、疫学指標を理解する。 3. 感染症、食中毒に関わる問題の解決や疾病対策と疫学との関連について理解する。 4. 看護・保健活動に必要な保健・看護情報を理解する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	疫学とは何か	[講義] 疫学の定義、疫学の歴史、疫学史上のエピソードなどを学習する。					関山	
2～4	健康と疾病異常の測定	[講義] 健康と疾病の概念、代表的な疫学指標（罹患率、有病率、死亡率、致命率、生存率など）を学習する。					関山	
5・6	疫学研究のデザイン	[講義] 症例対照研究、コホート研究、介入研究などの疫学研究のデザインを学習する。					江角	
7	疫学研究における偏りとその制御	[講義] 疫学研究において生ずる誤差や偏りにはどのようなものがあるか、なぜ起こるのか、それらを取り除くにはどうすればよいのかを学習する。					関山	
8	因果関係の判定と疫学要因	[講義] 因果関係を判定するための基本的な考え方と条件、疫学要因を学習する。					関山	
9～11	保健統計	[講義] 人口静態統計、人口動態統計、疾病統計、保健行政統計などのとり方とその内容を学習する。					関山	
12	サーベイランスと疾病登録	[講義] サーベイランスと疾病登録の定義、目的、内容などを学習する。					関山	
13	スクリーニング	[講義] スクリーニングの定義、目的、意義、実施上の原則、評価方法などを学習する。					関山	
14	疫学研究と倫理	[講義] 疫学研究における倫理的な問題、対象者選択の問題、介入研究における介入の妥当性などについて学習する。					関山	
15	試験						関山	
教科書	指定しない			参考書等	「看護学生のための疫学・保健統計」浅野嘉延、南山堂、2018年 「基本からわかる疫学入門（第3版）」大木秀一、医歯薬出版、2017年			
履修条件	なし			評価方法	1. 筆記試験（85%） 2. 学習態度（15%） 【評価のフィードバック方法】 模範解答等を掲載する			
備考	疫学は、保健問題を解決するための基本的な概念や方法論を提供する学問である。講義前に教科書を読んで予習をしておくことが望ましい。また、講義中は、「統計学」や「統計学演習」において学習した内容と結びつけながら理解する必要がある。教科書や配布資料等で十分復習して定期試験に臨むこと。予習復習時間は46時間以上。							

授業科目	行政看護管理論	科目責任者	市川 定子	単位数	1	必修選択別	必修	履修条件あり
				時間数	30	受講 Semester	4年次前学期	
学習目的と到達目標	目的	地域生活集団を対象とした看護領域における看護管理に必要な基本的知識と看護職の機能を理解し、その看護管理の活動方法の基本を習得する。						
	到達目標	1. 地方自治体を単位とした行政看護領域における看護管理（事例管理、地区管理、事業・業務管理、組織運営管理、予算編成・予算執行管理、人材育成、人事管理、情報管理）の目的と方法を理解する。 2. 事業化・システム化・施策化のプロセスを理解し、また既存事業の改善や事業化の基本的な方法を習得する。 3. 学校や事業所を単位とした保健システムに関わる看護職の管理的活動の目的と方法を理解する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	地方自治体を単位とした行政看護領域における看護管理の目的と管理機能、事業化のプロセス	[講義] 行政看護領域における看護管理の目的と管理機能（事例管理、地区管理、事業・業務管理、組織運営管理、予算編成・予算執行管理、人材育成、人事管理、情報管理）を学習する。事業化のプロセスを学習する。					市川	
2	システム化のプロセス	[講義] 地域における個人および家族への支援体制づくりと地域ケアのシステム化の方法について学習する。					春山	
3・4	学校保健システムに関わる看護職の管理的活動	[講義] 学校を単位とした学校保健システムに関わる看護職の管理的活動の目的と方法を学習する。					青木	
5・6	産業保健システムに関わる看護職の管理的活動	[講義] 事業所を単位とした産業保健システムに関わる看護職の管理的活動の目的と方法を学習する。					伊藤	
7	保健事業企画評価演習(1)	[演習] 演習オリエンテーション 演習で取り組む保健事業を選定し、事業の実施方法、成果、課題を整理することを通して、公衆衛生看護実習における保健事業の展開方法を学習する。					市川・春山・塚本・島田・青木・山岸	
8	保健事業企画評価演習(2)	[演習] 対象とする事業の必要性を、地域診断、法的根拠、当該自治体の施策における事業の位置づけ、事業開始の契機・理由から検討することを通して、より良い保健事業とするための方法や保健活動の改善方法を学習する。					市川・春山・塚本・島田・青木・山岸	
9・10	保健事業企画評価演習(3)	[演習] 住民・他職種を対象とした事業説明を想定して、プレゼンテーションする方法を学習する。					市川・春山・塚本・島田・青木・山岸	
11・12	保健事業企画評価演習(4)	[演習] プレゼンテーション、演習まとめ					市川・春山・塚本・島田・青木・山岸	
13・14	住民グループの育成および支援	[演習] 住民の自主グループづくりの事例を素材として、住民グループの育成および支援の方法と、地域資源として発展させる方法を学習する。					青木・春山・塚本・島田・市川・山岸	
15	試験						市川	
教科書	「最新公衆衛生看護学第3版 各論2 2023年版」宮崎美砂子他編、日本看護協会出版会、2023年			参考書等	「保健学講座 2 公衆衛生看護支援技術」岸恵美子他編、メヂカルフレンド社、2023年			
履修条件	・単位を取得していることが必要な科目 「公衆衛生看護実習」			評価方法	1. 筆記試験（50%） 2. 演習態度及び演習の提出物（50%） 【評価のフィードバック方法】 1. 模範解答等を掲載する 2. 学生に講評する			
備考	これまでの公衆衛生看護学の講義・演習・実習科目の学びを踏まえて、市町村、保健所、学校や事業所における看護管理活動に焦点をあてて学習する。公衆衛生看護実習の各フィールドでの学習を振り返り、教科書の該当部分を読んで授業に臨むこと。第7回～第12回については、公衆衛生看護実習（市町）における「保健事業の展開方法に関する学習」を素材に学習を深める。演習課題への取り組みと教員の助言・指導を踏まえて復習すること。予習復習時間は12時間以上。							

授業科目	地域健康危機管理論	科目責任者	島田 裕子	単位数	1	必修選択別	必修	履修条件あり	
				時間数	30	受講セメスター	4年次前学期		
学習目的と到達目標	目的	地域の健康危機管理の概念、活動体制と行政看護職の果たす機能・役割、健康危機の種別に応じた活動方法を理解し、地域の健康危機管理における行政看護職の活動方法の基本を習得する。							
	到達目標	1. 地域の健康危機管理の概念、活動体制と行政看護職の果たす機能・役割を理解する。 2. 地域における健康危機の種別（感染症・児童虐待・DV・自然災害、放射線災害など）に応じた、また予防期・発生時・回復期のフェーズに応じた行政看護職の活動方法を理解する。 3. 地域の健康危機管理における行政看護職の活動方法の基本を習得する。							
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員		
1	地域の健康危機管理とは	[講義] 健康危機の概念、健康危機管理の概念、地域の健康危機管理体制、地域の健康危機管理における保健師・保健師の機能・役割を学習する。					島田		
2	感染症健康危機管理における行政看護職の役割と活動方法	[講義] 感染症健康危機の特徴、平常時・発生時・終息後の行政看護職の活動について、行政看護職の機能・役割である情報収集・支援活動・倫理的配慮・事業の企画・体制づくり・活動評価の側面から学習する。					春山		
3～6	感染症集団発生時における行政看護職の活動方法	[演習] 演習オリエンテーション ケースメソッドにより感染症集団発生時の保健師活動事例をとおり、平常時・発生時・終息後の行政看護職の活動方法を考える。					島田・春山・塚本・市川・青木・山岸		
7・8	自然災害健康危機管理における行政看護職の役割と活動方法	[講義] 災害時に対応した看護職の話を聞き、行政看護職の活動方法について考える。 自然災害の種別による特徴、平常時、並びに、発生時フェーズ毎の被災者の支援ニーズと行政看護職の活動について、行政看護職の機能・役割である情報収集・支援活動・倫理的配慮・事業の企画・体制づくり・活動評価の側面から学習する。					島田		
9・10	自然災害発生時における行政看護職の活動方法	[演習] 演習オリエンテーション ケースメソッドにより自然災害発生時の保健師活動事例をとおり、発生時フェーズ毎の行政看護職の活動方法を考える。					島田・春山・塚本・市川・青木・山岸		
11・12	児童虐待とDVの予防対策と発生時対応に関わる行政看護職の役割と活動方法	[講義] 児童虐待のアセスメント、予防対策と発生時対応にかかわる行政看護職の役割と活動方法について学習する。 DVの予防対策と発生時に関わる行政看護職の役割と活動方法について学習する。					春山・島田		
13・14	放射線災害に関わる行政看護職の活動方法	[講義] 放射線災害にかかわる行政看護職の役割と活動方法について学習する。 [演習] 放射線災害の被災者の話を聞き、放射線災害に関わる行政看護職の活動方法を考える。					島田 島田・春山・塚本・市川・青木・山岸		
15	試験						島田		
教科書	「最新 公衆衛生看護学 第3版 各論1/各論2 2023年版」宮崎美砂子他編、日本看護協会出版会、2023年			参考書等	「公衆衛生看護学テキスト 第3巻 公衆衛生看護活動I 第2版」岡本玲子編、医歯薬出版株式会社、2022年 「保健学講座2 公衆衛生看護支援技術 第1版」岸恵美子他編、メジカルフレンド社、2022年 「みんなで取り組む災害時の保健・医療・福祉活動1版」國井修他編、南山堂、2022年				
履修条件	・単位を取得していることが必要な科目 「実践基礎看護学概論Ⅲ」			評価方法	1. 演習の参加態度、記録物（50%） 2. 試験（50%） 【評価のフィードバック方法】 1. 学生に講評する 2. 模範解答等を掲載する				
備考	講義と演習を組み合わせることにより、到達目標の達成を目指す。3年次後学期の公衆衛生看護活動論と公衆衛生看護実習で学習した行政看護職の活動を振り返るとともに、教科書も活用して演習前の予習課題に取り組み授業に臨むこと。授業後は授業資料や教科書を用いて復習すること。予習復習時間は12時間以上。								

授業科目	看護倫理学	科目責任者	小原 泉	単位数	2	必修選択別	必修	履修条件 なし
				時間数	30	受講 Semester	4年次 前学期	
学習目的と 到達目標	目的	医療・看護の現場で直面する倫理的課題と倫理の概念について学習し、看護者として人間の生命・尊厳・生活にかかわる権利を尊重するための基本的能力を養う。						
	到達目標	1. 生命倫理の原則を理解する。 2. 看護の対象となる人間の権利を理解する。 3. 看護実践上に必要な倫理的概念を理解する（インフォームド・コンセント、アドボカシー、アカウンタビリティ、協同、ケアリング）。 4. 看護実践の場で直面する倫理的課題を理解する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	倫理と生命倫理	[講義] 倫理および生命倫理とは何か、人間の権利と生命倫理の原則について学習する。					小原	
2	専門職の倫理	[講義] 「ICN 看護師の倫理綱領」や「看護者の倫理綱領」をはじめとする看護職の専門職倫理について学習する。					小原	
3	看護実践上の倫理的概念（1）	[講義] インフォームドコンセントおよび守秘義務・個人情報保護の概念と看護者の役割について学習する。					小原	
4	看護実践上の倫理的概念（2）	[講義] アドボカシー、責務/アカウンタビリティおよび協同/協力の概念と看護者の役割について学習する。					小原	
5	ケアの倫理	[講義] ケアとは何か、ケアの倫理について学習する。					加藤	
6	終末期ケアをめぐる倫理的課題	[講義] 終末期ケアにおける倫理的課題について学習する。					加藤	
7	先端医療をめぐる倫理的課題	[講義] 先端医療をめぐる倫理的課題について学習する。					小原	
8	看護実践における倫理的問題へのアプローチ	[講義] 看護実践上の倫理的問題の特徴と、倫理的問題を捉え調整していく方法について学習する。					小原	
9・10	看護実践における倫理的問題へのアプローチの実際（1）	[演習] グループワークとディスカッションによる事例検討（1） 看護実践における倫理的問題の事例について、生じている倫理的問題を捉え調整していく実際の方法を学習する。					加藤・小原	
11・12	看護実践における倫理的問題へのアプローチの実際（2）	[演習] グループワークとディスカッションによる事例検討（2） 看護実践における倫理的問題の事例について、生じている倫理的問題を捉え調整していく実際の方法を学習する。					加藤・小原	
13・14	看護実践における倫理的問題へのアプローチの実際（3）	[演習] グループワークとディスカッションによる事例検討（3） 看護実践における倫理的問題の事例について、生じている倫理的問題を捉え調整していく実際の方法を学習する。					加藤・小原	
15	評価						小原	
教科書	指定なし			参考書等	「医療倫理学のABC 第4版」 服部健司・伊東隆雄編著、メヂカルフレンド社、2018年 「系統看護学講座別巻看護倫理」 宮坂道夫他、医学書院、2018年			
履修条件	なし			評価方法	1. 課題レポート（80%） 2. 学習態度（とくにグループワークやディスカッションの参加態度）（20%） 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する			
備考	看護倫理学は覚える教科ではなく、思ったことを言葉にして自ら考えていくことが求められる。配付資料や参考書等を活用して予習・復習を十分行い、グループワークやディスカッションに積極的に取り組み、自らの考えを深めること。予習復習時間は、46時間以上を必要とする。							

授業科目	看護管理学	科目責任者	浜端 賢次	単位数	1	必修選択別	必修	履修条件なし	
				時間数	15	受講 Semester	4年次前学期		
学習目的と到達目標	目的	医療の質の向上・効率化を目指した他職種協働による看護ケア提供システムのありかた、看護者としてのメンバーシップ、リーダーシップを理解し、相談、調整、教育、意思決定などの臨床実践能力を構築するための理論や方法を体系的に習得する。							
	到達目標	1. 看護管理の基礎概念および基礎的理論を理解する。 2. チーム医療メンバーの一員としてより質の高い看護ケアを提供するための仕組みを理解する。 3. 看護管理の実際を学び、看護部門を構成する看護メンバーシップの責務と役割を理解する。 4. 看護を取り巻く多様な状況から、看護管理の直面する課題とその背景を理解する。							
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容並びに方法					担当教員		
1	看護管理学の概念・基礎的理論	[講義] 看護管理の概念・基礎的理論について学習する。					浜端		
2	看護組織論・看護マネジメント論(1)	[講義] 質の高い看護を提供するためのしくみとチームマネジメント方法について学習する。					臨地教授		
3	看護組織論・看護マネジメント論(2)	[講義] 質の高い看護を提供するためのしくみとチームマネジメント方法について学習する。					臨地教授		
4	看護の質保証と人材育成-キャリア形成とその支援-	[講義] 質の高い看護を提供するための教育体制と、専門職としてのキャリア形成と組織におけるキャリア開発について学習する。					臨地准教授		
5	看護管理の実際(1)-情報活用と管理-	[講義] 看護における情報の活用と管理について学習する。					臨地講師		
6	看護管理の実際(2)	[講義] 介護保険施設や高齢者関連施設における看護管理の実際と課題について学習する。					川上		
7	看護管理の実際(3)	[講義] 二次医療機関や訪問看護ステーションにおける看護管理の実際と課題について学習する。					浜端		
8	レポート作成						浜端		
教科書	「系統看護学講座 看護の統合と実践(1) 看護管理」上泉和子編、医学書院、2023年			参考書等	適宜呈示する。				
履修条件	なし			評価方法	1. レポート(90%) 2. 学習態度・参加度(10%) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する				
備考	日々看護を提供する看護職の実践を支えているのは看護管理である。看護管理者として多様な場で活躍している方々を非常勤講師としてお迎えする。先輩の看護への熱い思いから多くを学び、自分なりの看護への夢についてレポートにしてほしいと願っている。それぞれの単元の内容について、テキストや自分で探索した文献から予習復習し、看護管理について自己の考えを深める。予習復習時間は、23時間以上とする。								

授業科目	看護政策学		科目責任者 春山 早苗	単位数	1	必修選択別	必修	履修条件 なし
				時間数	15	受講 Semester	4年次 前学期	
学習目的と 到達目標	目的	政策決定過程を理解するとともに、わが国の保健医療福祉政策に関わる現状と課題、看護やケアに関連した経済的・政策的課題を理解し、その課題を解決していくための視野をもてる。						
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> わが国の保健医療福祉政策の現状と課題、並びに、保健医療福祉サービスと経済との関連を理解する。 政策決定過程を理解する。 国及び都道府県の保健医療福祉政策及び看護政策の現状と課題を理解する。 						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	政策とは わが国の保健医療福祉政策の現状と課題 保健医療福祉サービスと経済	<p>[講義] 政策とは何か、について学習する。 わが国の保健医療福祉政策に関わる社会経済的背景、組織運営等の現状と課題を理解する。 社会保障費や国民医療費の現状と課題を理解し、保健医療福祉サービスと経済との関連を学習する。また、費用効果、費用効用、費用便益について学習する。</p>					春山	
2	看護制度 政策決定過程	<p>[講義] 看護制度の変遷と看護に求められる社会的責務を理解する。 政策決定過程について学習する。</p>					春山	
3	保健師助産師看護師法 看護政策の現状と課題1	<p>[講義] 保健師助産師看護師法とそれに関連する法令について学習する。また、政策決定過程の実際を学習する。 看護基礎教育の充実に向けた検討等とおして現在の看護に関する政策の現状と課題を学習し、看護における政策の必要性和重要性について考える。</p>					春山	
4	看護師等の人材確保の 促進に関する法律	<p>[講義] 看護師等人材確保の促進に関する法律、並びに、看護職員確保対策等の政策決定過程の実際を学習する。</p>					春山	
5	看護政策の現状と課題2 政策策定過程への参画	<p>[講義] 看護職員の需給見通しに関する検討や新人看護職員研修、チーム医療の推進に関する検討等とおして、現在の看護に関する政策の現状と課題を学習し、政策策定過程への看護職の参画の重要性について考える。</p>					春山	
6・7	都道府県における保健医療福祉政策と看護政策	<p>[講義] 都道府県における保健医療福祉政策の現状と課題、並びに、公衆衛生活動や医療法などと看護政策との関連を考える。</p>					櫻山	
8	試験						春山	
教科書	指定なし	参考書等	<p>「看護法令要覧 令和2年版」日本看護協会出版会、2020年 「看護六法 令和5年版」新日本法規、2023年 「令和4年 看護関係統計資料集」日本看護協会出版会、2023年 「保健師助産師看護師法60年史」日本看護協会出版会、2009年</p>					
履修条件	なし	評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 筆記試験 (80%) 授業中に提出をを求める記録物 (20%) 学習態度 (減点法) <p>【評価のフィードバック方法】 学生に講評する</p>					
備考	<p>「保健医療福祉システム論」で学習したわが国のヘルスケアシステム、並びに、「看護学概論」で学習した看護の変遷と役割について、よく復習するとともに、看護あるいは看護職にかかわる政策について、マス・メディア等から最近の動向を調べて授業に臨むこと。授業後は、授業で学んだことを看護あるいは看護職にかかわる政策の動向に照らし合わせながら復習し学習を進めていくこと。予習復習時間は23時間以上。</p>							

授業科目	国際看護論	責任者	江角 伸吾	単位数	1	必修選択別	必修	履修条件 なし
		調整者 学内	春山 早苗	時間数	15	受講セメスター	4年次 前学期	
学習目的と 到達目標	目的	国際的な看護に関する組織について理解し、看護学の発展に関する課題や国際貢献、看護の国際化に関する現状と課題について理解する。						
	到達目標	1. 国際的な看護職能組織について理解する。 2. 国際的な看護学に関する教育の現状と学術団体について理解する。 3. 看護の国際貢献について理解する。 4. 看護の国際化に関する現状と課題について理解する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	世界の健康問題 国際看護に関わる主要 概念 国際協力 国際看護の目的	[講義] 世界の健康問題及び途上国の保健医療問題の現状、開発・プライマリヘルスケア・人間の安全保障と持続可能な開発目標、国際協力諸機関と協力の仕組み等について学習する。 以上を踏まえ、国際看護の目的について考える。					江角	
2	在日外国人の現状と看護 国際的な看護職能組織 世界の看護学教育の現 状と国際的学術団体	[講義] 在日外国人の現状と国際化に対応した看護のあり方や活動方法を考える。 国際看護師協会(ICN)、日本および世界における看護学教育の概要、看護の国際学術団体および学術集会について理解し、看護学の発展に関する課題を考える。					江角	
3	国際協力活動の実際1	[講義・演習] 現場で起こった外国人患者とのトラブルから病院でのコミュニケーション方法について考える。					江角	
4	看護の国際化に関する 現状と課題	[演習] 異文化を知り、異文化を受け入れることがどういうことか体験を通して考える。					江角	
5	国際協力活動の実際2	[講義] 途上国における感染症対策支援事例から国際看護活動のあり方や方法を考える。					江角	
6	国際協力活動の実際3	[講義] 途上国におけるヘルスプロモーション支援事例から国際看護活動のあり方や方法を考える。					江角	
7	世界の感染症の動向と 対策	[講義] 世界の感染症の動向と国際保健における感染症対策の重要性とその実際を理解する。					春山	
8	試験						江角	
教科書	「国際看護学 第2版」 日本国際看護学会編集、医学書院、2020年			参考書等	「国際保健医療学 第3版」日本国際保健医療学会編、杏林書店、2013年 「国際看護－国際社会の中で看護の力を発揮するために－」森淑江他著、南江堂、2019年			
履修条件	なし			評価方法	1. 筆記試験(60%) 2. 授業中に提出を求める記録物(40%) 3. 学習態度(減点法) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する			
備考	公衆衛生看護活動の展開方法(PDCAサイクル)を復習するとともに、教科書の該当部分を事前に読んで授業に臨むこと。授業後は、教科書や配付資料で復習し、看護が対応する問題と看護の役割を考えながら学習を進めていくこと。予習復習時間は23時間以上。グローバルな視点を持ち、看護専門職としての視野と可能性を広げることにつながる科目である。							

看護学分野

発達過程に焦点をあてた看護実践

授業科目	生涯発達看護学概論Ⅴ (リプロダクティブヘルス)		科目責任者 川野 亜津子	単位数	1	必修選択別	必修	履修条件 なし
	時間数	15		受講 Semester	4年次 前学期			
学習目的と 到達目標	目的	リプロダクティブヘルス・ライツおよび女性特有の健康問題に対する看護・支援を学ぶ。						
	到達目標	1. リプロダクティブヘルス・ライツの概念を理解する。 2. ライフサイクルの各期に応じたリプロダクティブヘルス・ライツに関する健康問題と看護を学ぶ。 3. ライフサイクルにおける女性の健康問題と看護・支援を学ぶ。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	リプロダクティブヘルス・ライツの概念	[講義] リプロダクティブヘルス・ライツの概念および、女性の健康支援の必要性・あり方を考える。					川野	
2	思春期女性の健康問題と看護	[講義] 思春期女性の健康問題および、支援の必要性と看護について学ぶ。					川野	
3	成熟期女性の健康問題と看護	[講義] 成熟期女性の健康問題および、支援の必要性と看護について学ぶ。					川野	
4	更年期女性の健康問題と看護	[講義] 更年期女性の健康問題および、支援の必要性と看護について学ぶ。					川野	
5	妊娠の意思決定および、望まない妊娠による健康問題	[講義] ・受胎調節と避妊法の基本について学ぶ。 ・望まない妊娠による健康問題について学ぶ。 ・妊娠の意志決定の支援について学ぶ。					川野	
6	不妊とその看護	[講義] 不妊および、本人と家族の看護について学ぶ。					上野	
7	性感染症とその予防	[講義] ・性感染症による健康問題について学ぶ。 ・性感染症予防の支援について学ぶ。					川野	
8	試験						川野	
教科書	指定しない			参考書等	「母性看護学Ⅰ(概論)」有森直子編、医歯薬出版、2022年 適宜提示する			
履修条件	なし			評価方法	1. 筆記試験(70%) 2. 事後課題(30%) 【評価のフィードバック方法】 模範解答等を掲載する			
備考	3年生までの学習内容が基礎になっているため、解剖・病態・発達段階とホルモン変化の復習をしてから臨むこと。 1回ごとに学習課題が異なるため、講義内容および指定した内容を復習すること。 予習復習時間は23時間以上とする。							

授業科目	基礎助産学 I	科目責任者	川野 亜津子	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件あり
				時間数	15	受講 Semester	4年次前学期	
学習目的と到達目標	目的	妊娠期・分娩期の生理と病態について学習する。						
	到達目標	1. 妊娠期の生理的变化と母体の適応について学ぶ。 2. 妊娠経過および妊娠期の正常からの逸脱について学ぶ。 3. 胎児の成長・発達および胎児付属物の機能について学ぶ。 4. 胎児および胎児付属物の正常からの逸脱について学ぶ。 5. 分娩の生理を学ぶ。 6. 分娩期の正常からの逸脱について学ぶ。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	妊娠期の生理的变化	[講義] 妊娠の生理、妊娠の診断、妊娠期の心身の変化について学ぶ。					上野	
2	妊娠期の正常からの逸脱と対応	[講義] 妊娠経過の診断、妊娠期の各種検査、正常からの逸脱の予防、妊娠経過中に起こる異常と対応、妊娠の合併する異常と対応について学ぶ。					二宮	
3	胎児の成長と発育 胎児・胎児期の正常からの逸脱 胎児付属物の構造・機能と異常	[講義] 胎児の成長と発育について学ぶ。胎児の正常からの逸脱、胎児付属物の構造・機能・役割、胎児付属物に関する異常と診断方法について学ぶ。					谷田部	
4・5	分娩の生理	[講義] 分娩の概念、分娩経過、分娩の3要素、分娩機序について学ぶ。					川野	
6・7	分娩期の正常からの逸脱と対応	[講義] 分娩経過の診断、分娩経過の異常（分娩停止・分娩遷延）、娩出力の異常（微弱陣痛・過強陣痛）、産道の異常（骨産道・軟産道）、分娩期の正常からの逸脱の予防と異常への対応について学ぶ。					川野	
8	評価						川野	
教科書	「助産学講座6助産診断・技術学Ⅱ（妊娠期）」我部山キヨ子・武谷雄二編集、医学書院、2021年 「助産学講座7助産診断・技術学Ⅱ（分娩期・産褥期）」我部山キヨ子・武谷雄二編集、医学書院、2021年 「助産学講座8助産診断・技術学Ⅱ（新生児期・乳幼児期）」我部山キヨ子・武谷雄二編集、医学書院、2021年			参考書等	「病態・治療論 [13] 産科婦人科疾患」百枝幹雄他、南江堂、2019年			
履修条件	単位を取得していることが必要な科目 「助産学概論」			評価方法	1. 筆記試験（80%） 2. 課題レポート（15%） 3. 学習態度（5%） 【評価のフィードバック方法】 模範解答等を掲載する			
備考	助産師国家試験受験資格を得ようとする者には必修の科目である。助産師国家試験受験資格関連科目受講学生選考審査合格者のみが受講できる。選考方法は別途周知する。生涯発達看護学概論Ⅰおよび周産期実践看護学Ⅰ・Ⅱの関連する部分について、復習してから講義に臨むこと。毎回の講義で学んだことを復習して、次回の講義に臨むこと。予習復習時間は23時間以上とする。							

授業科目	基礎助産学Ⅱ		科目責任者 川野 亜津子	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件あり
				時間数	15	受講セメスター	4年次前学期	
学習目的と到達目標	目的	産褥期・新生児期の生理と病態について学習する。						
	到達目標	1. 産褥期の生理的变化・経過について学ぶ。 2. 産褥期の正常からの逸脱について学ぶ。 3. 新生児の生理的变化について学ぶ。 4. 新生児および新生児期の正常からの逸脱について学ぶ。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1・2	産褥期の生理的变化、産褥期の局所的変化	[講義] 産褥期の身体的変化、心理・社会的変化について理解し、進行性変化と退行性変化および、正常な変化を促進する要因について学ぶ。					川野	
3・4	産褥期の正常からの逸脱と対応	[講義] 産褥期の正常からの逸脱の予防、産褥期に起こりやすい異常と対応について学ぶ。					川野	
5～7	新生児の生理的变化 新生児・新生児期の正常からの逸脱と対応、ハイリスク新生児・低出生体重児のケア	[講義] 周産期にある胎児・新生児の生理的变化、子宮外生活への適応について学ぶ。 (新生児の異常徴候、新生児期の正常からの逸脱と観察、ハイリスク新生児・低出生体重児と家族のケア)					川野	
8	試験						川野	
教科書	「助産学講座7助産診断・技術学Ⅲ(分娩期・産褥期)」我部山キヨ子・武谷雄二編集、医学書院、2021年 「助産学講座8助産診断・技術学Ⅲ(新生児期・乳幼児期)」我部山キヨ子・武谷雄二編集、医学書院、2021年			参考書等	「今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改定第4版」北川眞理子編集、南山堂、2019年			
履修条件	単位を取得していることが必要な科目 「助産学概論」			評価方法	1. 筆記試験(95%) 2. 学習態度(5%) 【評価のフィードバック方法】 模範解答等を掲載する			
備考	助産師国家試験受験資格を得ようとする者には必修の科目である。 助産師国家試験受験資格関連科目受講学生選考審査合格者のみが受講できる。選考方法は別途周知する。 生涯発達看護学概論Ⅰおよび周産期実践看護学Ⅰ・Ⅱの関連する部分について、復習してから講義に臨むこと。 毎回の講義前に関連する内容について教科書を読んでおくこと。また、毎回の講義で学んだことを復習して、次の講義に臨むこと。予習復習時間は23時間以上とする。							

授業科目	基礎助産学Ⅲ	科目責任者	角川 志穂	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件あり
				時間数	15	受講 Semester	4年次前学期	
学習目的と到達目標	目的	母子と家族の健康、母子と家族の心理的側面および、妊娠・出産に関わる社会文化的側面について学習する。						
	到達目標	1. 母性・父性の発達と家族役割の変化について理解する。 2. 周産期女性の心理について理解する。 3. 母子の健康に影響を与える要因について理解する。 4. 母子の心理および、社会的側面に影響を与える要因について理解する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1・2	母子の健康と生活に影響を与える要因	[講義] 母子の健康と栄養、母子と免疫、妊娠中の薬剤の影響、遺伝性疾患、妊娠中の感染症・性感染症など、母子の健康に影響を与える要因について学ぶ。					角川	
3	母子と家族の心理的・社会文化的側面に影響を与える要因	[講義] リプロダクティブヘルス/ライツ、ジェンダーと出産、女性への暴力、児童虐待など、母子の心理および社会文化的側面に影響を与える要因について学ぶ。					角川	
4	母性・父性とは、妊娠・出産による家族の変化、バースプランとバースレビュー	[講義・演習] 女性と家族にとっての妊娠・出産・育児体験と、生活の変化について学習する。 バースプラン、バースレビューについて学ぶ。					角川	
5～7	母子の健康と生活への支援 (小集団指導)	[演習] 母子の健康生活を支援するための小集団指導の方法について実践的に学ぶ。					角川	
8	評価							
教科書	指定しない			参考書等	「助産学講座6助産診断・技術学Ⅱ (妊娠期)」 我部山キヨ子・武谷雄二編集、医学書院、2021年 「助産学講座7助産診断・技術学Ⅲ (分娩期・産褥期)」 医学書院、2021年 「助産学講座8助産診断・技術学Ⅳ (新生児期・乳幼児期)」 横尾京子編集、医学書院、2021年			
履修条件	単位を取得していることが必要な科目 「助産学概論」			評価方法	1. 課題レポート (70%) 2. 演習における事前課題 (30%) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する			
備考	助産師国家試験受験資格を得ようとする者には必修の科目である。 助産師国家試験受験資格関連科目受講学生選考審査合格者のみが受講できる。選考方法は別途周知する。 この科目の予習として、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の心理・社会的側面の範囲を復習してから受講し、講義内容を復習し、理解して試験に臨むこと。予習復習時間は23時間以上とする。							

授業科目	実践助産学Ⅰ	科目責任者	上野 知奈	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件あり
				時間数	15	受講セメスター	4学年前学期	
学習目的と目標	目的	妊娠期の助産実践に必要な知識を理解し、アセスメントと支援の基礎的技術を習得する。						
	到達目標	1. 妊娠の診断について学ぶ。 2. 妊婦、胎児および家族の健康状態のアセスメントと支援に必要な基礎的技術を習得する。 3. 妊婦、胎児および家族に必要な健康教育について理解する。 4. 妊婦と家族への健康教育に必要な基礎的技術を習得する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	妊娠の診断 妊婦のフィジカルアセスメントと助産診断	[講義] 妊娠の確定診断、妊娠各期の経過を診断するためのフィジカルアセスメント、妊娠各期の助産診断に必要な項目について学ぶ。					上野	
2	妊婦のフィジカルアセスメントの実践	[講義・演習] 妊婦のフィジカルアセスメントについて学ぶ。 (妊娠の診断、健康診査、妊婦のフィジカルアセスメント)					上野・川野 角川 谷田部・二宮	
3・4	妊娠期の異常と妊娠合併症の診断と対応	[講義] 妊娠期の異常や合併症の診断(妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病など)と対応について学ぶ。					高橋	
5	妊娠期の助産過程の展開	[演習] 正常経過にある妊婦とその家族の支援方法および、妊娠各期の助産過程の展開について学ぶ。					上野・川野 角川 谷田部・二宮	
6・7	妊婦と家族への健康教育	[演習] 妊婦と家族への個別健康教育の意義および実践について学ぶ。					上野・川野	
8	試験						上野	
教科書	「助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期」 我部山キヨ子・武谷雄二編集、医学書院、2021年 「今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改定第4版」北川真理子編集、南山堂、2019年 「産婦人科診療ガイドライン 産科編2023」 日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集、 日本産科婦人科学会事務局、2023年			参考書等	「臨床産科学テキスト」長谷川潤一、メディカ出版、2019年			
履修条件	単位を取得していることが必要な科目 「助産学概論」			評価方法	1. 筆記試験(85%) 2. 演習における事前・事後課題(15%) 【評価のフィードバック方法】 事前・事後課題：学生に講評する 筆記試験：模範解答等を掲載する			
備考	助産師国家試験受験資格を得ようとする者には必修の科目である。 4年次開講科目は、助産師国家試験受験資格関連科目受講学生選考審査合格者のみが受講できる。選考方法は別途周知する。 助産学実習での助産実践につながる科目であり、講義内で提示された情報だけではなく、多様な資料から自ら学び、実習での展開に向けて準備することが必要である。演習で提示する課題が時間内に終了しない場合には、自宅での課題学習となる。教科書の各回に関連する部分を事前に読んで、授業に参加するとともに、事後学習を行うこと。 予習復習時間は23時間以上とする。							

授業科目	実践助産学Ⅱ		科目責任者 上野 知奈	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件 あり
				時間数	30	受講セメスター	4学年 前学期	
学習目的と目標	目的	分娩期および出生直後の新生児に対する助産実践に必要な知識を理解し、アセスメントと支援の基礎的技術を習得する。						
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 分娩進行に伴う身体・心理的变化について理解し、そのアセスメントに必要な基礎的技術を習得する。 2. 胎児のウェルネスの指標について理解し、そのアセスメントに必要な基礎的技術を習得する。 3. 妊娠期・分娩期の助産過程に必要な知識と技術を習得する。 4. 分娩経過中の産婦と家族への支援について理解する。 5. 分娩介助に必要な基礎的技術を習得する。 6. 出生直後の新生児の生理的变化と胎外生活への適応について理解し、そのアセスメントに必要な基礎的技術を習得する。 						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	分娩進行に伴う身体・心理的变化のアセスメント	[講義] 分娩各期の分娩経過に伴う身体・心理的变化のアセスメントとケアについて学ぶ。 ハイリスク分娩の予防・支援について学ぶ。					上野	
2	分娩経過中の産婦と家族の支援	[講義] 分娩経過中の産婦と家族へのアセスメントと支援について学ぶ。					川野	
3・4	母体と胎児のウェルネスの指標とアセスメント(超音波断層法・胎児心拍モニタリング)	[講義] 母体と胎児のウェルネスの指標として、超音波検査法と胎児心拍モニタリングを学び、母体および胎児の評価について学ぶ。					桑田	
5・6	母体と胎児のウェルネスの指標とアセスメント	[講義] 分娩経過中の母体と胎児のウェルネスの指標とアセスメントについて学ぶ。					上野	
7～9	分娩期の助産過程の展開	[講義・演習] 分娩期の母体と胎児のウェルネスの評価、産婦と家族への支援について、事例をもとに助産過程を展開し学ぶ。					上野・川野・角川 谷田部・二宮	
10～13	分娩介助に必要な基礎的技術とその実践	[講義・演習] 分娩介助に必要な基礎的技術について学ぶ。					上野・川野・角川 谷田部・二宮	
14・15	出生直後の新生児のアセスメントとケア 試験	[講義・演習] 出生直後の新生児の成長・発達・成熟度の診断と胎外生活への適応の診断を含む分娩介助に必要な基礎的な基礎技術を学習する。					二宮・上野	
教科書	「助産学講座7助産診断・技術学Ⅱ(分娩期・産褥期)」我部山キヨ子・武谷雄二編集、医学書院、2021年 「今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改定第4版」北川眞理子編集、南山堂、2019年 「産婦人科診療ガイドライン 産科編2023」日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集、日本産科婦人科学会事務局、2023年 新生児蘇生法テキスト第4版 細野茂春、メジカルビュー、2020年			参考書等	「臨床産科学テキスト」長谷川潤一、メディカ出版、2019年 「助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア」佐々木くみ子編集、日本看護協会出版会、2023年 「分娩のしくみと助産法」竹田省、高橋眞理編集、メジカルビュー社、2016年 「図説CTGテキスト アドバンス」中井章人、メジカルビュー社、2017年 「分娩介助学 第2版」進純郎、医学書院、2014年			
履修条件	単位を取得していることが必要な科目 「助産学概論」			評価方法	1. 筆記試験(85%) 2. 演習における事前・事後課題(15%) 【評価のフィードバック方法】 事前・事後課題：学生に講評する 筆記試験：模範解答等を掲載する			
備考	助産師国家試験受験資格を得ようとする者には必修の科目である。 4年次開講科目は、助産師国家試験受験資格関連科目受講学生選考審査合格者のみが受講できる。選考方法は別途周知する。 助産学実習での助産実践につながる科目であり、講義内で提示された情報だけではなく、多様な資料から自ら学び、実習での展開に向けて準備することが必要である。演習で提示する課題が時間内に終了しない場合には、自宅での課題学習となる。教科書の各回に関連する部分を事前に読んで、授業に参加するとともに、事後学習を行うこと。 予習復習時間は12時間以上とする。							

授業科目	実践助産学Ⅲ		科目責任者	川野 亜津子		単位数	1	必修選択別	選択	履修条件あり
				時間数	30	受講セメスター	4学年前学期			
学習目的と目標	目的	早期産褥・新生児期の母子と家族について理解し、そのアセスメントと支援の基礎的技術を習得する								
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 早期産褥期の身体・心理的变化とその支援について理解し、アセスメントと支援に必要な基礎的技術を習得する。 2. 産婦と新生児および家族の心理・社会的変化とその支援について理解する。 3. 早期産褥期の正常からの逸脱の早期発見・治療・予防・支援について理解する。 4. 新生児期の生理的变化と胎外生活への適応について理解し、アセスメントと支援に必要な基礎的技術を習得する。 5. 新生児期の正常からの逸脱の早期発見・治療・予防・支援について理解する。 6. 母子分離の際の母子と家族の理解とその支援について考える。 								
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法						担当教員		
1	分娩直後の産婦の正常からの逸脱のアセスメントとケア	[講義] 分娩直後の産婦のアセスメントとケアについて学ぶ。						川野		
2	産褥早期の身体的変化、心理・社会的変化	[講義] 産褥早期の産婦の身体的変化、心理・社会的変化について学ぶ。(マタニティブルーや産褥精神障害を含む)						川野		
3・4	分娩直後から産褥早期に起こる異常の診断と対応	[講義] 分娩直後から産褥早期に起こる異常の診断と対応について学ぶ。						川野		
5	母子分離された母子と家族の理解とその支援	[講義] 母子分離となった母子と家族の理解とその支援について学ぶ。						川野		
6	母乳育児支援と授乳中に起こりうるトラブル	[講義] 母乳育児支援と授乳中に起こりやすいトラブルとケアについて学ぶ。						上野		
7	産褥期進行性変化のフィジカルアセスメント	[演習] 母乳育児支援の実際・フィジカルアセスメントについて学ぶ。						上野		
8	産褥期退行性変化のフィジカルアセスメント	[演習] 産褥期の退行性変化のフィジカルアセスメントについて学ぶ。						川野		
9・10	新生児の生理的变化と胎外生活への適応	[講義] 早期新生児期の生理的变化、胎外生活への適応について学ぶ。						川野		
11・12	新生児期の正常からの逸脱を踏まえた新生児のフィジカルイグザミネーション	[演習] 新生児期の正常からの逸脱を踏まえ、早期新生児期の正常経過のアセスメントに必要なフィジカルイグザミネーションの基本的技術を学習する。						上野		
13・14	出生直後に起こる新生児の異常の診断と対応	[講義] 出生直後に起こる新生児の異常の診断と対応について学ぶ。						矢田		
15	試験							川野		
教科書	「助産学講座8助産診断・技術学Ⅱ〔3〕新生児期・乳幼児期」横尾京子編集、医学書院、2021年 「今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改定第4版」北川真理子編集、南山堂、2019年				参考書等	「臨床産科学テキスト」長谷川潤一、メディカ出版、2019年 「母乳育児支援スタンダード第2版」日本ラクテーションコンサルタント協会、医学書院、2015年 「新生児学入門第5版」仁志田博司、医学書院、2018年				
履修条件	単位を取得していることが必要な科目 「助産学概論」				評価方法	1. 筆記試験(95%) 2. 学習態度(5%) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する				
備考	助産師国家試験受験資格を得ようとする者には必修の科目である。4年次開講科目は、助産師国家試験受験資格関連科目受講学生選考合格者のみが受講できる。選考方法は別途周知する。 助産学実習での助産実践につながる科目であり、講義内で提示された内容だけではなく、多様な資料から自ら学び、実習での展開に向けて準備することが必要である。教科書の各回に関連する部分を事前に読んで、授業に参加するとともに、事後学習を行うこと。予習復習時間は12時間以上とする。									

授業科目	実践地域助産学	科目責任者	角川 志穂	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件あり
				時間数	15	受講 Semester	4年次前学期	
学習目的と到達目標	目的	地域における母子保健活動の意義と実践について理解し、地域につなげるケアの基本的技術を習得する。						
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における母子保健活動の意義と活動の場について理解する。 2. 助産所や自宅分娩の利点と課題を説明する。 3. 助産師による地域の子育て支援について理解する。 4. 産褥期の退院に向けた健康教育・保健指導の意義を学ぶ。 5. 産褥期の健康教育・保健指導に必要な基礎的技術を習得する。 						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	地域における母子保健活動の意義と実際	[講義] 地域母子保健の概念と意義および、地域母子保健活動の歴史、法的基盤、助産師による様々な場での母子保健活動について学ぶ。					角川	
2	退院後に向けた母子の生活の支援	[講義] 医療的ケアの必要な児の退院後に向けた退院調整および退院後の母子と家族への支援について学ぶ。					角川	
3・4	助産師による地域の子育て支援とその課題	[講義] 助産師による地域の子育て支援の実際、必要性和課題について学ぶ。					藤川	
5～7	育児期の健康教育・保健指導の実践	[講義] 育児期にある母子の健康教育・保健指導について、実践的に学ぶ。					角川	
8	評価						角川	
教科書	「助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第6版」我部山キヨ子編集、医学書院、2023年			参考書等	適宜提示する。			
履修条件	・単位を取得していることが必要な科目「助産学概論」			評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事後課題 (50%) 2. 課題レポート (50%) 【評価のフィードバック方法】 レポート：学生に講評する			
備考	助産師国家試験受験資格を得ようとする者には必修の科目である。4年次開講科目は、助産師国家試験受験資格関連科目受講学生選考合格者のみが受講できる。選考方法は別途周知する。 周産期看護実習での体験を振り返り、毎回の講義・演習に積極的に参加すること。 予習復習時間は23時間以上とする。							

授業科目	助産管理学	科目責任者	川野 亜津子	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件あり
				時間数	15	受講セメスター	4年次前学期	
学習目的と到達目標	目的	助産師の活動に関わる管理の概念とその実際について理解し、助産師活動の場と責任について学ぶ。						
	到達目標	1. 助産管理の概要について理解する。 2. 母子に対する社会保障について理解する。 3. 助産所と病産院の助産管理の役割について理解する。 4. 災害時の助産師の役割と活動について理解する。 5. 医療事故と助産師業務について理解する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	助産管理の概要 医療保険制度と母子に対する社会保障制度	[講義]・助産管理の目的と概要を学習する。 ・日本の医療保険制度と母子に対する社会保障制度について学ぶ。					川野	
2	助産所の業務と管理	[講義]・助産所での妊娠・分娩管理、その役割と課題について学ぶ。 ・助産所の業務と管理および、助産業務ガイドラインについて学ぶ。					小嶋	
3	産科外来と助産師外来	[講義]・助産師外来における助産師の主体的な妊婦・褥婦支援について学ぶ。					小嶋	
4	病院での助産管理	[講義]・病棟における助産管理について学ぶ。 ・産科病棟、分娩棟、MFICU それぞれの機能と役割、その中での助産実践について学ぶ。					田中	
5～7	助産実践におけるリスクマネジメント (災害時の助産師の役割と活動/助産業務と医療事故)	[講義]・助産実践におけるリスクマネジメントの概要を学ぶ。 ・災害時の助産師の役割と母子ケアについて学ぶ。 ・助産業務に関連する医療事故と助産師の業務責任について学ぶ。					川野	
8	試験						川野	
教科書	「助産師基礎教育テキスト 第3巻 周産期における医療の質と安全」成田伸編、日本看護協会出版会、2023年			参考書等	「助産業務ガイドライン2019」日本助産師会編集、2019年			
履修条件	・単位を取得していることが必要な科目 「助産学概論」			評価方法	1. 事後課題 (60%) 2. 課題レポート (35%) 3. 学習態度 (5%) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する			
備考	助産師国家試験受験資格を得ようとする者には必修の科目である。 助産師国家試験受験資格関連科目受講学生選考審査合格者のみが受講できる。選考方法は別途周知する。 周産期に関連する法律・制度・看護管理を復習してから受講し、講義内容を理解して試験に臨むこと。 予習復習時間は23時間以上とする。							

看 護 学 分 野

各 看 護 実 習

授業科目	助産学実習	科目責任者	川野 亜津子	単位数	8	必修選択別	選択	履修条件あり
				時間数	360	受講セメスター	4年次後学期	
学習目的と到達目標	目的	周産期の母子と家族を支援するための助産実践の基礎的技術を習得し、助産業務について理解する。						
	到達目標	1. 出産・育児に向けた妊娠中の健康教育・保健指導について学ぶ（集団指導・個別指導）。 2. 出産に向けた一般外来・助産師外来での妊婦管理について学ぶ。 3. 分娩進行中の産婦・胎児および出生直後の新生児のアセスメントと支援に必要な基礎的技術を習得する。 4. 分娩期に必要な看護・助産技術および基礎的な分娩介助技術を習得する。 5. 早期産褥期・早期新生児期の母子と家族アセスメントと支援に必要な基礎的技術を習得する。						
学習内容ならびに方法								
実習期間	8週間							
実習方法	1. 妊娠期実習 1) 妊娠期外来実習（一部助産師外来）…妊婦健診に参加し、妊婦のアセスメントの基礎的技術を学ぶと共に、妊婦とのかかわりについての実際や必要な支援について考える。 2) 妊婦健康教育実習（出産準備教室）…妊婦週数に応じた集団指導での健康教育を見学し、その支援について考える。 2. 分娩・育児期実習 1) 分娩期実習…分娩入院した産婦を受け持ち、分娩期にある母子とその家族に必要な基礎的助産活動を学習する。直接介助を行う受け持ちは9ケース以上とする。うち1ケースは産褥・新生児期までの継続ケースとする。 2) 新生児期実習…間接介助として出生直後の新生児ケアを行う。そのケースについては、できるかぎり、出生後2時間および出生後24時間の観察・評価について学習する。 3) 母子の継続実習（継続ケース） ①入院中の母子受け持ち実習…「分娩期助産実習」で受け持ったケース（褥婦、新生児）のうち1ケースを継続して受け持ち、入院中の母子に必要な基礎的援助活動を学習する。 ②退院後の母子受け持ち実習…「入院中の母子受け持ち実習」で受け持ったケース（褥婦、新生児）を継続して受け持ち、退院後1～2週間の時点での外来での支援あるいは家庭訪問、産後1ヶ月健診（可能ならば新生児1ヶ月健診も）の実習を行い、新生児・乳児を養育する家庭における母子とその家族に必要な基礎的援助活動を学習する。 4) 帝王切開術およびその前後の母子のケア実習…帝王切開術を受ける母子に行われるケアを見学し、その状況を理解すると共に、母子とその家族に必要な支援について考える。 3. 地域を中心とした実習の概略 助産所実習…地域で開業する助産師の活動を見学し、その実際を学ぶ。							
実習内容	周産期（妊娠・分娩・産褥・新生児期）の助産師の役割、ケア・健康教育の意義と方法、助産過程の展開について学び、助産技術の基本的実践を学習する。							
担当教員	川野、角川、上野、谷田部、二宮							
実習場所	自治医科大学附属病院産科病棟・外来、自治医科大学附属さいたま医療センター、ことり助産院、マザーズハイブン佐藤助産院							
履修条件	・単位を取得していることが必要な科目 「基礎助産学Ⅰ」「基礎助産学Ⅱ」「基礎助産学Ⅲ」 「実践助産学Ⅰ」「実践助産学Ⅱ」「実践助産学Ⅲ」 「実践地域助産学」「助産管理学」			評価方法	助産学実習最終評価票に基づき、評価する（全体を通じた実習状況、ケース受け持ち実習、実習態度） （100%） 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する			
備考	助産師国家試験受験資格を得ようとする者には必修の科目である。 4年次開講科目は、助産師国家試験受験資格関連科目受講学生選考審査合格者のみが受講できる。選抜方法は別途周知する。 分娩介助実習の進行状況により、延長実習があり得る。長期間の実習で負担も大きい、高い知識と技術を獲得できる。これまでの学びを総括する実習であり、関連する科目の復習を同時進行で行う。教員、臨床教員、臨床実習指導者、臨床スタッフ等の支援があつて成り立っており、適時助言・指導を得ながら、進めていくようにする。 実習開始にあたっては、分娩介助の技術チェックを学内で行う。予習復習時間として16時間以上を使うこと。 本科目では、看護職としての実務家教員らが、その経験と知識を活用して指導する。							